

みみょう幼稚園だより



令和元年11月号 ***** <http://mimyo.org/youchien/>

爽やかな秋空の下、子どもたちの笑顔が一段と生きいきと映える季節の到来です。

10月22日には即位礼正殿の儀が行われ、世界中に日本の新しい時代と美しい文化が披露されました。国民の幸せと世界の平和を願われた天皇陛下のお言葉は、全世界に感動を与えました。また、国民に寄り添うとのお言葉が続きましたが、この“寄り添う”という言葉の美しさや温かさは、私たち大人が子どもたちに日々の実感として与え続けていかななくてはならない大事な大事な感覚だと思います。もちろん子どもたちにだけでなく、寄り添われ受け止めてもらえた時の嬉しさは、何歳になっても、生きていく上での糧となっていくと思います。誰もが日常のあらゆる場面で、同じ時間や場所を共有することの出来た人たちと寄り添うことができるようになると、笑顔や幸福感の輪は、地域や社会へと大きく広がっていくに違いありません。子どもたちが優しく温かくつながりながら成長していけるように、みんなで寄り添い合っていきましょう。

楽しいこと見つけた！



10月24日（木）に、広島市私立幼稚園協会からの依頼を受け、広島市内の幼稚園の先生方に子どもたちのあそびの様子を見ていただきました。テーマは「楽しいこと見つけた！」です。子どもたちの主体性をより一層伸ばそうと、学級や学年を超えての活動を一学期から進めてきました。年長組、年中組では4つの部屋それぞれにいくつかのコーナーを用意しました。ごっこあそび、製作あそび、廃材をたっぷり用意したコーナーもあります。「みんなで遊ぶ日」子どもたちはそう呼んで、いつものように、しっかりと遊び込む姿を見せてくれました。参加者をお願いしたアンケートにも、そんな子どもたちの様子が、たくさん書かれていました。以下、一部抜粋です。

- 3歳児でもいろいろな道具を使いこなして、思いおもいのものを作っていて驚いた
- ベタベタの両手を広げて笑顔でポーズしてくれてとてもかわいかった、満足感にあふれていた
- 別のあそびが一緒になって新しいあそびが出来上がっていた
- くっつかなかったり失敗したり、それを工夫して取り組む姿が主体的なあそびにつながっていく
- 決められた製作などにとらわれず、自由に作っていく姿に感動した
- 長い時間かけて遊び込んでおり、熱中度や集中度が高いと感じた
- 協力しながら作っている姿や、お互いのことを認めていく姿が印象的だった
- (子どもたちの)声の大きさや歩き方などとても落ちついている
- 一人でじっくり絵本を読んでいた男の子の姿が印象に残っている



テラスには、絵本や図鑑、パズルのコーナーも用意しています。一人で集中したい時もあるはずですが、大勢が苦手な子どももいます。あらゆる状況を想定して環境設定の工夫検討をしています。あそびのスタート時には絵本を読んでいた年長さん2人が、出来上がったコロコロ迷路を手にとり「先生、見て見て！」と担任のもとにとんで来ました。一緒につくったんだと、嬉しそうに見せてくれました。松ぼっくりや貝殻、トイレットペーパーの芯も使っています。そのキラキラした笑顔を見ている担任のなんと幸せそうなこと。先生たちは、子どもたちの動きや表情を見取ること、要求や思いを汲み取ることに努力を重ねて

います。まさに、その努力の成果、最高のご褒美がもたらされた瞬間です。子どもたちから貰ったエネルギーを、また、楽しいあそびにしっかりと返していきたいと思います。

園長 三上 玲子